通常号　定価1部100円（消費税込み）年間購読料3,000円（送料含む）　The Democratic Party of Japan　平成9年4月25日　第3種郵便物認可

たばた直子 さんに聞く 新しい千葉市のかたち

千葉市のイメージは？

私は幼いころ稲毛海岸に住んでおり、その後、父の転勤により東京や名古屋など他の都市に住む機会に恵まれました。千葉市以外の地域に住んだ経験から**千葉市を客観的に見る**ことができると思っています。

千葉市は自然に恵まれ、また幕張など商業施設が充実し住みやすいと思う反面、実感として、**行政のサービスが充実しているとは言いがたい**と考えます。

子供を持つ市民の目線で比べると、子育て世帯に対する助成、公民館や子供ルーム、図書館の施設の充実、公園の整備等、他市より見劣りする部分があります。

どんな千葉市にしたい？

熊谷市長が誕生するまで、前市長時代までは政令都市にふさわしい建築物を建てようと、大規模開発ばかりが進んでいました。

時代背景による功罪はあると思いますが、**これからの市政の目指すべき姿は市民の満足度を高める【まちづくり】**だと思います。

高齢者の方の健やかな生活、地域コミュニティー力の強化、保育所の待機児童解消など市民の生活に密着している部分から市政を改善し、市民がそれを実感できる取り組みをしていかなければなりません。

美浜区ってどんな街？

美浜区は**「住民の高齢化・住居の老朽化が進む地域」**と**「子育て世代が新たに移り住み、街の開発が進む地域」**が混在しており、これからの日本が必要とする**「高齢化対策と子育て支援対策」**という課題を合わせた、**日本の縮図のような地域**といえます。これからの市政や国政に非常に影響を受ける地域ともいえます。

また、別の角度から見ますと、美浜は「海」から生まれた歴史の新しい町と言えます。住民の方々は皆この地を選んできた人ばかりです。私は、**地域を良くしたい気持ち、未来に残していきたいという気持ちを美浜の皆さんと共有したい**と考えます。

特に「子育て政策」にこだわりがあるとのことですが具体的な案は？

一番重要な点は**子育てをしやすい環境をいかにつくるか**だと考えます。例えば、**保育園の待機児童の問題、幼稚園児に対する助成**についても総合的に考慮しなければなりません。また、保育園、幼稚園の良いところを合わせた**「認定こども園」**の設立、移行を推進していく必要があります。

さらに、**地域の力を活用した子どもルームづくり**も推進する必要があると考えます。

民主 PRESS MINSHU　号外
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988（代表）
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

最後に皆さんにお伝えしたいことは？

熊谷市長が誕生し、まもなく2年を迎えます。千葉市の財政危機に立ち向かうため、様々な削減、事業見直しを推し進めています。

10年後、20年後のことを考え、今後の**千葉市を担う若い世代に財政的負担を回すことは避けなければなりません。**

議会としても熊谷市長の足を引っ張るのではなく、サポートをしなければなりません。

さらに、**熊谷市長に千葉市が良くなるための提案をどんどん投げかけていく姿勢**が必要です。

最後までお読み頂きありがとうございます。

詳しい政策はホームページ上でご紹介させていただいておりますので御一読頂ければ幸いです。

公式ホームページ　http://tabatanaoko.com/　詳しくはWEBで!!

真っ直ぐな視点を千葉市に！

PROFILE プロフィール

1976年
東京都八王子市生まれ
0歳の時に稲毛海岸3丁目団地へ転入
幼稚園の時に稲毛区へ転出、小学校3年生まで過ごす。
その後、父の仕事の都合上、名古屋・東京等に居住。

1994年
東京都立竹早高等学校卒業

1995年
東京女子大学　文理学部日本文学科　入学
その後、結婚、出産を経て、11年前に千葉市へ戻る
子育てをしながら市役所や財団法人の非常勤職員として勤務。学校のPTA役員、ボーイスカウト活動のお手伝いを数年にわたり経験。
人と人との繋がりの大切さ、地域の役割の重要性を強く感じる。

趣味
ハイキング、自然散策、読書、サッカー・野球観戦

たばた直子後援会事務所
↑携帯用HPはこちら
〒261-0011 千葉市美浜区真砂5-44-13
真砂中央ショッピングセンター内
TEL:043-216-3861 FAX:043-216-3891
info@tabatanaoko.com